

広がりを見せるスポーツNPO

社会貢献を行う団体に法人格を与えるNPO法(特定非営利活動推進法)が98年12月1日に施行され、まもなく2年がたちます。この間、女性スポーツの発展を目指す"ジュース"、総合型地域スポーツクラブを全国100ヵ所に設立することを目指す"クラブネッツ"、学校施設等の芝生による緑化推進を支援する"芝生スピリット"など、スポーツに関する多様なNPO法人が全国に続々と生まれており、今後のわが国のスポーツシーンを活性化させる存在として期待されています。

そこで、8月にNPO法人申請されたばかりの大阪教育大学の赤松先生にお話を伺いました。

Q NPO法人の名称、メンバーについて教えてください。



赤松: 名称はNPO法人コミュニティスポーツシステム研究会(通称CSSC)です。現時点では府内の大学教官、行政関係者、教員、学生によって構成される組織となっています。

Q NPO法人を取得しようとした主な理由は何ですか？



赤松: これまでも任意団体として活動を展開してきましたが、組織としてより実質的な社会貢献を果たしていくためには、組織が安定して活動を継続できるよう組織基盤を強化していく必要があると考えたからです。また、法人組織として会計・税務処理をガラス張りにしていく方が適切であると考えたからです。夢としては、スポーツNPOとして雇用の機会確保にもつながればと考えています。

Q どのような活動を展開していくのですか？



赤松: 21世紀に求められる学校体育、地域スポーツ、あるいは、企業スポーツの方向性について、実際に活用していただける考え方や具体的な方策を研究・開発していきたいと考えています。そのようなデータや知識(情報)を、なみはやスポーツネット(NSN)を通して、継続的に発信していきたいと考えています。

NPO法の概要や法人認証手続きなどに関して府庁のホームページ

<http://www.pref.osaka.jp/>

2008年オリンピック競技大会、北京に決定

2008年オリンピック競技大会の開催都市は、去る7月に開催されたIOC総会で北京に決定されました。

大阪府といたしましては、(財)大阪オリンピック招致委員会を中心に、大阪市やJOCはもとより、国や経済界・競技団体等と十分連携しながら、招致活動を精一杯支援してまいりましたが、誠に残念な結果となりました。しかし、これまでの招致活動は、世界平和に貢献するというオリンピックムーブメントの普及啓発に大きく寄与するとともに、大阪を広く世界の人々に知っていただく上で大きな効果をあげることができたと思います。磯村市長をはじめ、関係者のご努力に深く敬意を表しますとともに、これまで全国各方面から寄せられた皆様のご支援に対し、心から感謝申し上げます。

開催都市に選ばれた北京にありましては、21世紀の共生の時代にふさわしい、すばらしい大会が開催されますことを心からご期待いたします。皆様方におかれましては、今後とも生涯スポーツの振興、オリンピックムーブメントの普及に、ご支援ご協力をお願いします。

大阪府知事 太田房江



2002 史上最多の198の国と地域がエントリー FIFA WORLD CUP KOREA / JAPAN™

大阪では3試合が開催!(長居スタジアム)

2002年

6月12日(水)15:30~ 予選リーグ
6月14日(金)15:30~ 予選リーグ(日本代表戦)
6月22日(土)20:30~ 準々決勝

17回目となる2002年大会はアジアで初めての開催であるとともに、史上初の2カ国(日本と韓国)の共同開催になります。史上最多の198の国と地域がエントリーし、そのうち本大会に出場できるのは32カ国。優先出場権を得ている

3カ国(開催国である日本と韓国、前回大会優勝国のフランス)を除いた、195の国と地域が出場権をめぐって予選を戦っています。(一部は決定済)

大会は、来年5月31日から6月30日まで、日韓両国で各32試合、計64試合行われます。日本では、大阪市をはじめ10の自治体で熱戦が繰り広げられます。